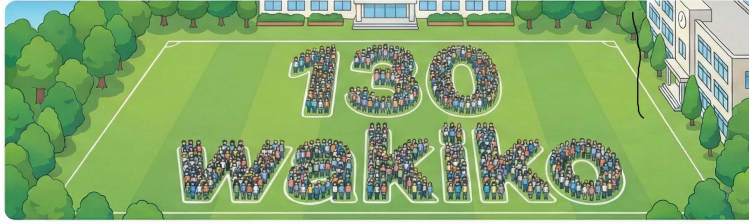


創立130周年記念：人文字空撮 実施ガイド



レイアウトと人員配置の基本

視認性を保つ「2～3列」の密度



上空から地面が露出しないよう、2～3列に重ねて配置

人数配分は「4：6」の比率



全体の約60%を割り当て、交差部分の密度を上げる

曲線・交差部分の重点配置



「3」「0」「w」「k」などの複雑な部分は、人員を多めにして形を解明にします。

当日の運営と撮影ステップ



事前の下書きと画角確認
前日～当日に石灰でラインを引き、ドローンのテスト飛行で取りまわりを確認します。



クラス別の誘導と密度確保
担当部位ごとにクラスを配置し、前後の間隔を詰めて整列させます。



放送を合図にしたアクション
パネル掲示や手を振る動作を行い、静止画と動画の両方を撮影します。



ベストな撮影時間は10時～11時
逆光を避け、影が伸びすぎない午前中の時間帯に実施します。

© NotebookLM